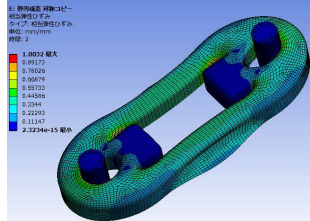
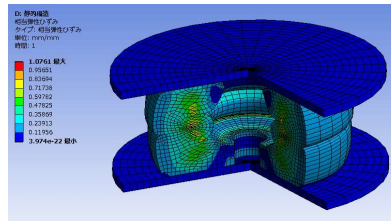


金具接着タイプの課題

ゴム単製品(金具なしのゴムのみの製品)

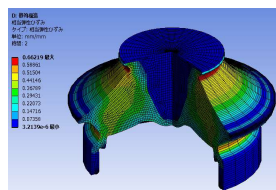


マフラーマウントの変形解析

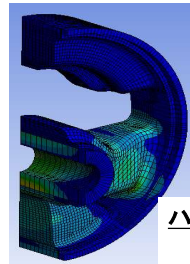


クッションラバーの変形解析

金具接着型製品



円錐型マウントの変形解析



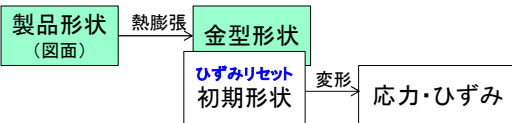
ハの字型マウントの変形解析

© 2022 Terakoya All Rights Reserved.

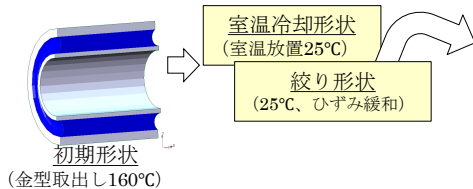
ゴム製品の解析法は、大きくゴム単と金具接着型に大別されます。

ゴム製品の解析では、

【手順まとめ】

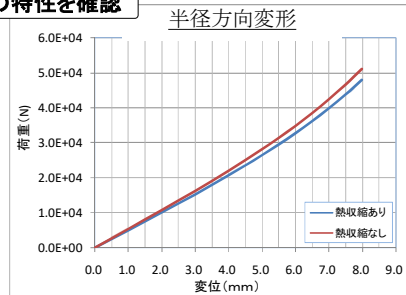


ブッシュ形状で
具体的に特性変化を確認

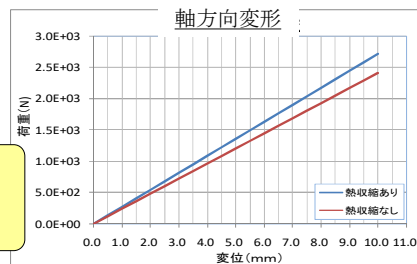


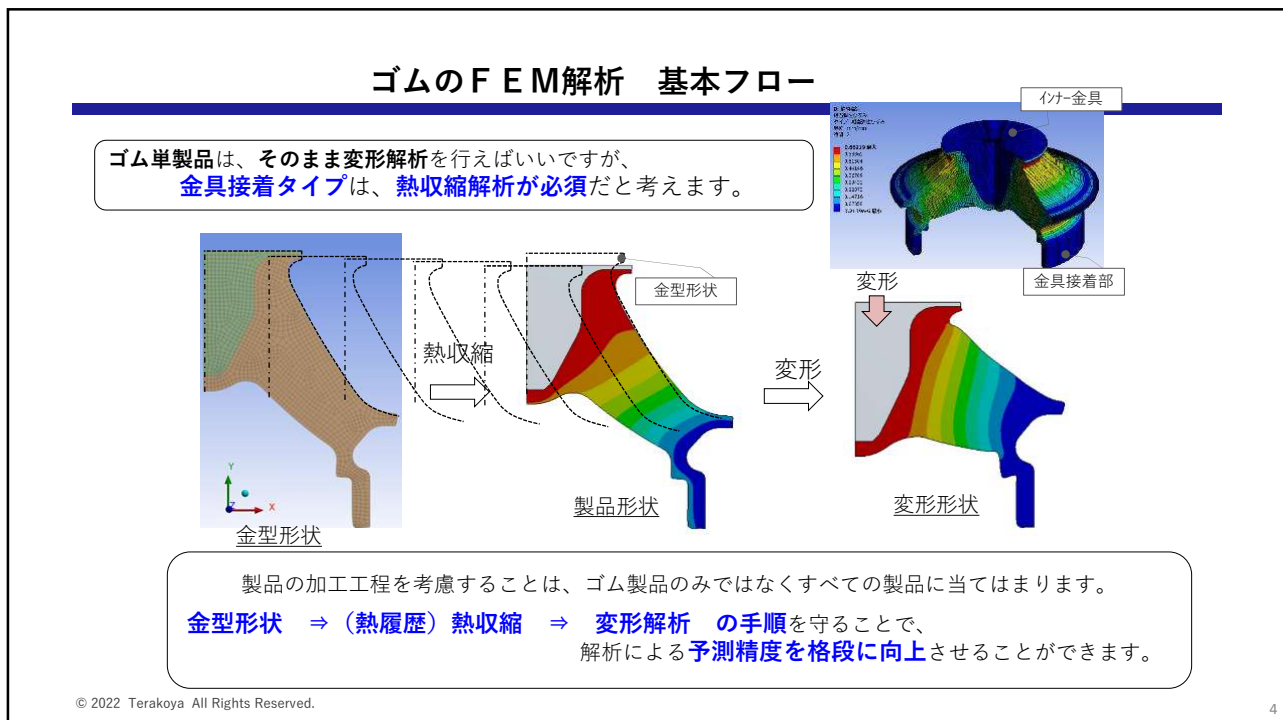
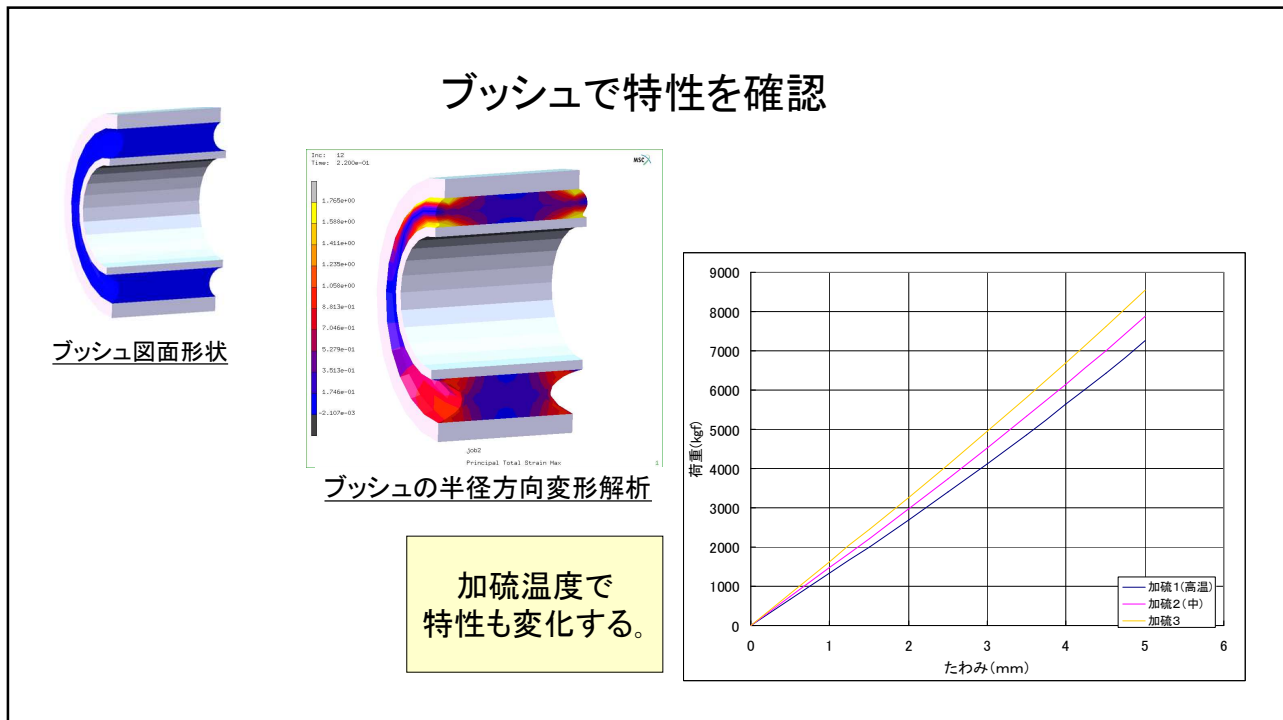
熱収縮を考慮するか否かで、特性予測に差がみられ、
熱解析を考慮することは必須となります。

各方向の特性を確認

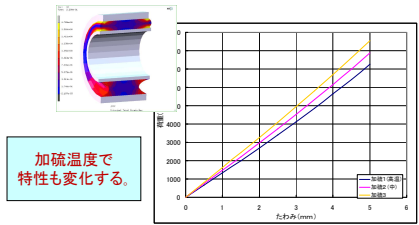
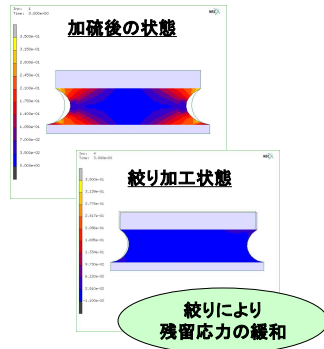
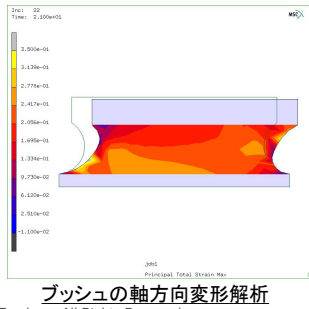
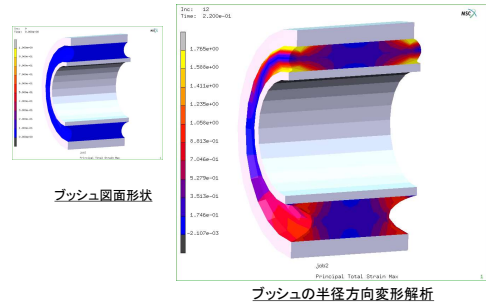
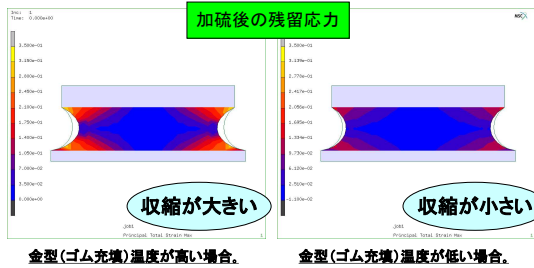


赤と青(熱収縮考慮の有無)で特性が逆転

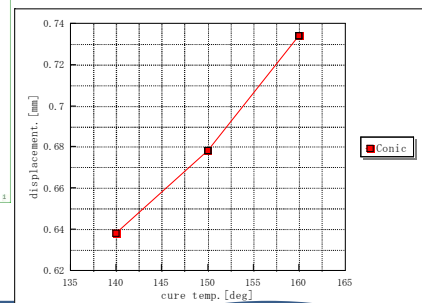
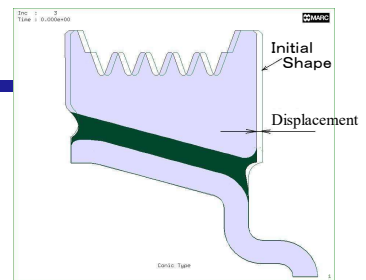
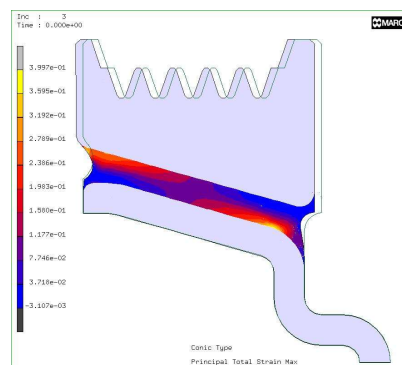
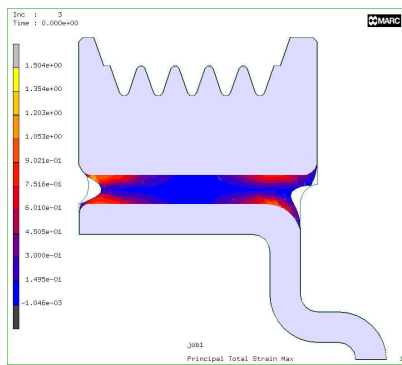




加硫工法の違いにより収縮も異なる。



プリーダンパーの熱収縮



円錐タイプは軸方向に収縮するのでひずみが緩和
 ストレートタイプは軸方向に移動しない分、残留ひずみ大きい。

後の耐久性にも影響